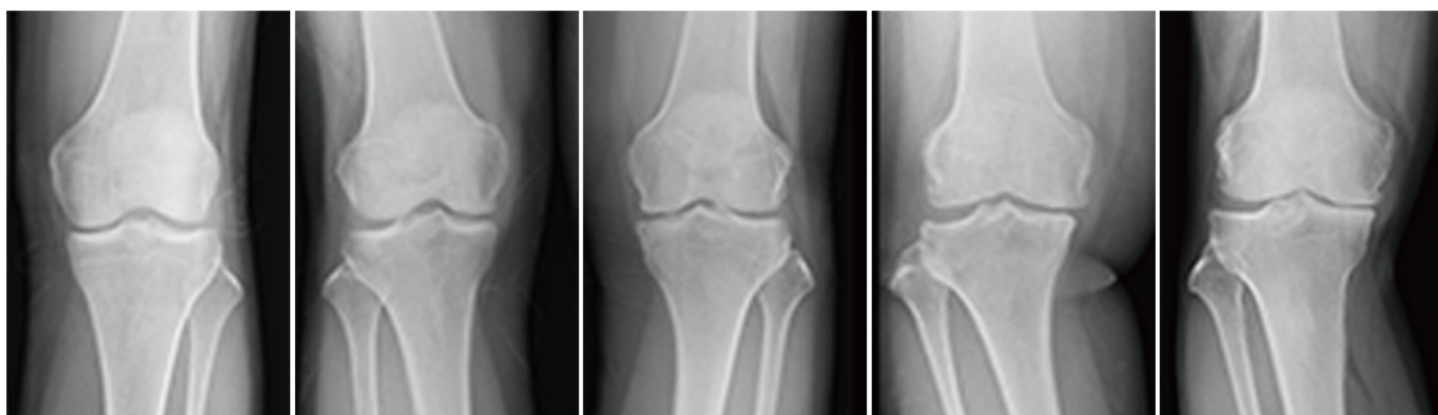


膝関節機能改善試験

変形性膝関節症は、膝関節の関節表面の軟骨のすり減りや半月板の変性・断裂により、関節内に炎症が起きたり、関節が変形したりして痛みが生じる病気です。

また、加齢等により筋力が低下すると膝関節の関節腔に負担がかかるようになり、膝の不快感が現れます。これにより関節可動域の減少やそれによるさらなる関節周りの筋力低下が引き起こされます。

これらの症状の改善や進行を遅らせることで、普通の日常生活を送ることができます。



0 (none) I (doubtful) II (minimal) III (moderate) IV (severe)

日本整形外科学会変形性膝関節症治療成績判定基準(膝 JOA score)、日本版膝関節症機能評価尺度(Japanese Knee osteoarthritis measure:JKOM)、VASや理学検査を用いて、変形性膝関節症初期段階の方に対する評価をします。

また、試験期間中に筋力向上目的のウォーキングやレジスタンス運動の実施、測定項目として、歩行速度、階段昇降テスト、膝関節伸展筋力、膝関節可動域の評価等の実施も可能です。

※腰痛症患者機能評価質問表 (Japan Low Back Pain Evaluation Questionnaire : JLEQ) などを用いて、腰に対する違和感や不快感の評価も可能です。



食品・化粧品ヒト試験受託企業

株式会社ケイ・エス・オー
<http://www.kso.co.jp>

〒105-0023

東京都港区芝浦 1丁目9番7号 芝浦おもだかビル7階
TEL : 03-3452-7733 FAX : 03-3452-7833